



エフピック 広島ファミリー相談室

活動報告

第 14 号

発行日
2021年 6月1日

コロナ禍での支援者は今

人との接触の自粛が求められている中、心の繋がりとその支援が模索されています。そんな中、私たち支援者には、今何が求められているのでしょうか？



「支え合う支援者—FPICの今とこれから」

公益社団法人 家庭問題情報センター事務局長 鶴岡 健一

1 コロナから学ぶ

コロナ禍の下でこれまで経験しなかったさまざまな体験をし、感じ、考えてきました。家族関係の分野での対人支援の知識と技法を身につけることを目標としている私たちにとって、人と人との交わりやコミュニケーションの成り立ちについて改めて見直す機会となっています。また、「経済活動か感染防止か」という二律背反の葛藤とどのように向き合うかというテーマは、さまざまに形を変えて当事者や私たち自身が日々直面させられている悩みであることに気付かされます。ピンチをチャンスととらえることが臨床のセンスを磨くコツだとすれば、いま学ぶことは多いというべきでしょう。

2 動き出した家族法改正

子どもの利益を実現することを中心とした家族法改正が動き始めました。商事法務研究会で行われていた家族法研究会と、法務省で続けられていた「養育費不払い解消に向けた検討会議」が時を同じくして、令和2年12月24日にそれぞれとりまとめを公表し、本年3月からの法制審議会家族法制部会につながっていきました。今回の法制審議会は大きなテーマについて幅広く検討される見込みであり、FPICの事業内容にも関連するところが多く、これまでの経験から得られてきた知見が少しでも議論に活用されるように情報や意見を求められる機会が増えるのではないかと思います。

特に、面会交流支援や親ガイダンスについては、日本全国のインフラの整備が極めて不十分であり、質の高い支援が幅広く提供されることへのニーズは増大しており、これまで手探りでこの分野を開拓してきた私たちの歴史と活動へ熱い視線が注がれています。

3 支え合う支援者

とはいえ、私たちの日々の活動内容が大きく変わるわけではありません。両親の葛藤の渦に巻き込まれている子どもたちの声にならない声を聞きとる力を磨き、いつでも、今、ここが安全で安心な空間であるように努め、親たちがもう一步前に歩いて、子どもに向き合うことができるように、また、自分たちの葛藤や二律背反を受け容れることができるように、対人支援のスキルを磨いていくほかありません。そしてそのために何よりも必要なのは支援する者たち自身の支え合う日常です。子どもたちや当事者の方々が様々な葛藤に向き合うことができるよう見守っていくためには、支援者自身が守られ支えられる交わりの場が支援者たちの命の水場となるでしょう。

(裏面もご覧ください。)

令和3年度 第8回通常総会開催

令和3年度(第8回)通常総会は新型コロナ感染拡大が危惧される中、令和3年4月21日(水)、広島県民文化センターにおいて、感染防止策を執りながらの開催となりましたが、会員35名中、出席者25名、委任状9通により、定足数に達し、総会は成立しました。大本和則代表、倉田治顧問、小鹿野智事務長の体制の下、大本代表を議長に選出し、令和2年度事業報告、決算報告及び会計監査報告が承認され、令和3年度の事業計画及び予算(案)が可決されました。総会に先立ち、家庭問題情報センター鶴岡健一事務局長のオンラインによる記念講演が行われました(表面参照)。

令和2年度 事業報告と令和3年度事業計画

令和2年度では、面会交流支援事業はコロナ感染拡大防止措置として合計6ヶ月間活動を中止しました。「面会交流支援の案内(FPICルール)」、リーフレット「ご案内」の改訂、赤い羽根共同募金活動の一環として「家庭問題無料相談会」を令和2年11月に開催、34人もの相談を受けました。また、広島県及び広島市から「離婚前後親支援講座」事業の委託を受け、令和2年10月に1回、令和3年3月に2回、同講座を実施しました。

令和3年度も「家庭問題無料相談会」を開催します。『活動報告』を年2回発行する他、ホームページの改訂、親支援プログラム「かるがもクラス」の充実を図り、岡山市からの委託事業である「養育費・面会交流相談事業」に継続して参加、広島県、広島市及び福山市からの委託事業「離婚前後親支援座」の継続実施、実施体制の整備と内容の充実、会員の支援力アップのための研修企画、事業の一層の安定化、定着化を図る所存です。

令和2年度の主な活動 (令和2年4月～令和3年3月)

活動内容	件数・人数など	備考
面会交流支援	186回	前年度 279回
相談	電話 302件、面接 77件	前年度 電話 281件、面接 89件
公正証書遺言の証人派遣	106件(会員 179人)	前年度 203件(341人)
親支援プログラム(かるがもクラス)	7回(参加者 13人)	前年度 11回(参加者 16人)
無料相談会	27件(申込者 34人)	前年度 中止(申込者 61人)
赤い羽根共同募金活動	募金 169件	前年度 120件
岡山市養育費・面会交流相談	12回(相談件数 30件)	前年度 10回(28件)
広島県・広島市共催「離婚前後親支援講座」	3回(参加者 27人)	令和2年10月、令和3年3月2回



赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました

温かいご支援のおかげで、広島ファミリー相談室は安定した運営を続けることができました。社会への還元の一環として令和3年度も「家庭問題無料相談会」を開催いたします。

無料相談会 日時:令和3年11月28日(日) 午前10時～午後4時
場所:広島県民文化センター 広島市中区大手町1丁目5番3号



公益社団法人 家庭問題情報センター
エフピック(FPIC)広島ファミリー相談室
広島市中区大手町1丁目5番3号 県民文化センター6階
電話・Fax: 082-246-7520 (平日 13:30~16:30)
E-mail: fpichiroshima@ybb.ne.jp
HP: <https://www.fpichiroshima.com/>

